

「ダム推進一色 公正さを欠く」

佐世保市水道局チラシ

市民団体が抗議

県と佐世保市が東彼川棚町に予定している石木ダム建設計画で、同市水道局が市民に配布した「水を大切にする日」(6日)の啓発チラシが「ダム推進一色で公正を欠く」として「水問題を考える市民の会」(篠崎正人代表)など2団体が1日、同局に抗議した。

チラシは、市が1994年の大濁水を機に制定した「水を大切にする日」を前に8月末、新聞に折り込んで配布された。水源不足の現状を訴え、石木ダム建設の必要性を強調した内



抗議文を読み上げる篠崎代表(左)

1 佐世保市水道局

石木ダムPR チラシに抗議

佐世保の市民団体

県と佐世保市が川棚町に計画している石木ダム問題で、同市の市民団体「水問題を考える市民の会」と「石木川まもり隊」は1日、市水道局

容。

2団体の8人が同日、同局を訪れ、篠崎代表が「節水などの呼び掛けはひと言もなく一方的な情報。公共団体として不適切」とする抗議文を手渡した。

対応した同局の一瀬司事業部副理事らは、「(問題)をすり替えた意図はなく、こういう機会に水事情を伝えたかった」と釈明した。

(山口恭祐)

の宣伝用チラシが不適切だとして同局に抗議した。

問題となったのは、水道局が9月4日に市内で開く総事業費約100万円のイベント「水を大切にする日」をPRするチラシ。8月末に新聞各紙に折り込まれ、2面にわたって水源確保の厳しさを石木ダムの有効性について説明している。

抗議書は、①節水について一言も触れていない②石木ダム建設推進の一色で情報が偏っている③などと指摘している。

同局を訪れた市民の会の篠崎正人代表は「公正さを欠き市民の誤った判断を招く」と抗議。水道局側は「以前から伝えていることで、趣旨には反しない」と述べた。